

## 災害廃棄物（漁網）埋立処理後の空間線量率及び放流水の測定結果（10月分）

### （1）空間線量率の測定結果

単位：マイクロシーベルト/h

測定日	測定場所	測定結果（平均値）	備考
10月11日	最終処分場の外周路	0.045	
	漁網搬入場所(旧管理棟)	0.030	
	漁網の埋立場所の上部	0.030	

測定者：箱根町環境センター職員

測定機器：FLUKE製 イオンチェンバーサーベイメーター 型式451P-DE-SI-RYR

※国際放射線防護委員会の勧告によると一般人の安全基準は、年間1,000マイクロシーベルト未満となっているため、次の算式により1時間あたりの限度値を求めると0.19マイクロシーベルトとなります。

「算出式」

年間放射線量 = (平均値 × 屋外活動8時間 + 平均値 × 屋内活動16時間 × 40%) × 365日

### （2）放流水の放射能濃度の測定結果

単位：Bq/l

採取日	Cs（セシウム） 134	Cs（セシウム） 137	合計 (Bq/l)
10月11日	検出なし	検出なし	検出なし

分析機関：株式会社 同位体研究所

測定機器：Ge γ線スペクトロメーター

※「検出なし」の表記ある場合は、検出下限値未満であることを示しています。

(検出下限値 Cs(セシウム)134:0.15Bq/l、Cs(セシウム)137:0.17Bq/l)

※「放射性物質汚染対処特別措置法施行規則」では、放射性セシウムを含む放流水を河川などに流した際に、次の式により算出した値が1を超えないよう管理することとされていることから、濃度限界値は、「Cs(セシウム)134 が、60Bq/l未満、Cs(セシウム)137が、90Bq/l未満」となります。今回の調査結果は、その濃度限界値よりはるかに低い数値であることがわかります。

【算出式】 
$$\frac{\text{Cs134の濃度}}{60} + \frac{\text{Cs137の濃度}}{90} \leq 1 \quad (\text{Bq/l})$$